

# なかの 市議会だより

5月号

2022年(令和4年)  
5月5日発行  
No.68

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)



## とよた保育園 開所

●市政一般質問	決議	意見書案	人事案	事件案	予算案	条例案	●議案件数及び議決内容	会期	閉会	開会	
30件	1件 可決	2件 可決	1件 適任	1件 同意	2件 可決	12件 可決	2件 承認	12件 可決	18日間	3月18日	3月1日

3月定例会



阿部光則

国民健康保険について

質問 国民健康保険税の賦課方式の変更理由と内容は。

答弁 資産割の軽減制度がなく、固定資産税もあり負担感が大きいため、県の方針である保険税負担の平準化を目指し、令和9年度までに所得割均等割、平等割の3方式に段階的に進めていく。

質問 子育て世帯の負担軽減の観点から始まる均等割軽減策の内容は。

答弁 国および地方の取り組みとして、未就学児に係る均等割の5割を公費負担とする。

質問 さらに子育て支援として、軽減の拡大、充実への考えはどうか。  
答弁 引き続き国の動向を注視しながら考えていく。

介護職員・保育士などの処遇改善について

質問 介護や保育現場などの賃金は他と比べ大幅に低い中、国はケア労働者の処遇改善のため令和3年度補正予算措置で公的価格を抜本的に見直すとしているが、市はどうするか。

答弁 公立保育所の正規職員は、他

の職種の給与との均衡を図るため、県内各市の状況も踏まえ、賃金改善は実施していない。

質問 民間の保育所などではどうか。  
答弁 私立保育所などや民間に委託している放課後児童クラブでは、3%程度の賃金改善に取り組んでいる。市の会計年度任用職員の保育士および放課後児童支援員では、2・5%程度の賃金改善を行っている。

大雪への対応について

質問 除雪業者が変更となった路線では、大雪時を考え、降雪シーズン前に、地元区、業者との現地調査や検討の必要性を感じているがどうか。  
答弁 除雪業者が変更となった路線では、雪寄場などの状況を把握したため、地元区、除雪業者と事前に現地調査を実施し、冬期間の交通確保に努めている。

質問 大雪で農地などへ押し込んだ雪の排雪の要望があるがどうか。  
答弁 寄せた雪の排雪は、営農や空き地利用に支障がないよう対応する。

質問 大雪時には、高齢者などへの支援が重要であるため、支援の対象者を拡大すべきではないか。  
答弁 支援の対象者の拡大は、現時点では考えていない。

その他の質問

・インボイス（適格請求書）制度について



青木正道

旧長丘小学校活用施設管理事業について

質問 旧長丘小学校に対し、子どもセンター機能を中心とした活用事業に係る公募型プロポーザルが行われたと思うが、具体的な利活用の内容は。

答弁 子育て支援センターや一時預かり事業といった「子育て支援機能」のほか、自主事業運営エリアとして活用できることとした。

質問 何者の応募があり、決定はしたのか。  
答弁 応募者数は3者で、合同会社WIPを最適候補者と選定した。

質問 自主事業運営エリアの事業提案内容はどんなものか。  
答弁 大型遊具を設置しての遊び場や、親が子どもと遊んでいる間にスタンプが地元食材で夕食のおかずを作るキッチン、子どもを預けながらリモートワークにも対応できるコワーキングスペースなどであった。また、多文化・多言語・探求の学びとしてインターナショナルスクール保育施設の運営の提案があった。

質問 新しい試みとしてのDBO（デザイン・ビルド・オペレート）

方式に問題はなかったか。

答弁 問題がないように進めている。  
質問 施設設備に1億2千万円は、プロポーザルで少なく済んだのか。  
答弁 若干下回っている。

質問 最適候補者が市外であるが、設計会社・施工会社も市外なのか。  
答弁 設計会社は市外である。施工会社はまだ決まっていない。

小学校へのスラックラインの導入について

質問 スラックラインを手段として、子どもたちの体幹トレーニングを行うってどうか。  
答弁 一部の小学校で器具を寄付いただき、すでに体育の授業や、運動クラブで活用のほか、休み時間にもたくさんのお子さんが使用している。

質問 教育環境の平等性からも全ての小学校に導入できないか。  
答弁 学校の意見を聞く中で判断していく。

その他の質問  
・移住定住促進事業について

(注)  
スラックライン

ウェビングと呼ばれる細いベルト状のラインの上でバランスを楽しむスポーツのこと。



芦澤 孝幸

市立図書館について

質問 コロナ禍における施設利用制限緩和の考えは。

答弁 まん延防止等重点措置の適用などにより、3月6日まで休館し、予約貸出のみ実施した。今後は他市町村の開館状況や感染状況を考慮し対応していきたい。

質問 入館者数の推移と年齢別利用状況はどうか。

答弁 市立図書館は、平成5年6月に開館し、平成6年度の入館者数は13万3千896人、令和元年度は12万8千606人である。昨年度の年齢別利用状況は、60歳代が6千116人で一番多く、次いで70歳代が6千108人であった。

質問 他市と比較した本市の貸出冊数の状況はどうか。

答弁 本市の貸出冊数は、人口1人当たり年間3・9冊で、県内19市中18番目である。

質問 図書館パートナーズ導入の考えは。

答弁 他市の状況を参考にしながら研究していく。

質問 カフェ等併設の考えは。

答弁 現在、設置計画はないが、玄

関入口に自動販売機を設置し、併設するオアシス公園で飲食しながら読書ができるなど、利用者の利便性の向上に努めていく。

質問 開館日数拡大の考えは。

答弁 豊田分館の休館日を月曜日から金曜日に変更することとし、また、電子図書館の導入など、利用者の利便性の向上に努めていきたい。

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について

質問 DX推進に当たった課題と対策は。

答弁 ICT技術に精通したコーディネーターが重要であり、人材確保、ニーズに応じた支援可能体制の構築が課題と考える。引き続き、行政内部でのICT技術の利用機会を増やすことで、人材育成に取り組んでいきたい。

質問 マイナンバーカードの取得率の状況はどうか。

答弁 令和4年2月1日現在の交付者数は、1万3千795人で、取得率は31・4%であり、県内19市中19位である。

質問 取得率向上への取り組みは。

答弁 申請サポート対応として、写真の無料撮影、取得窓口時間の延長、休日窓口の定期的な開設、各種イベント会場での申請サポート実施など、取得しやすい環境づくりに努めている。



小林 忠一

大雪への対応について

質問 ローターリ除雪車と排雪トラック併用による除雪体制の構成が必要だと思いませんか。

答弁 有効な方法であると考えられるが、ロータリ除雪車の台数や費用もかかるため、今後、研究していく。

質問 積雪時における生活道路での緊急車両の通行確保が必要では。

答弁 雪寄場および排雪場の確保が必要となることから、毎年区長会へ依頼し確保に努めている。

質問 地域と協力して生活道路の幅改良を計画的に推進する必要があると思うがどうか。

答弁 各地区からの要望を基に、緊急性、必要性および財政状況などを踏まえ、計画的に順次行っている。

下流の溢水防止策について

質問 市として、解消を必要とする地元地区と協力し、水路のふた掛け等の対策を計画する必要があるのではないか。

答弁 ふたを掛けると維持管理に支障がでる等、課題もあることから、今後も引き続き研究していく。

都市計画道路(仮称)吉田西条先線について

質問 関係区への説明は実施されたか、また、その反応はどうだったか。

答弁 平成24年2月策定の都市計画道路見直し案で、追加候補路線として平成26年2月に関係区の役員へ説明を行った。平成27年12月の関係区への説明会で、当面、整備方針等を研究していくことで理解を得ている。

質問 関係者は、地権変更・建築関係で候補地の曖昧な縛りが10年近く続いている。結論を出す時期では。

答弁 候補路線であり、都市計画法に基づく規制はない。

質問 昨年9月定例会の一般質問で、必要性が高い路線と認識しているが、踏切の対応・工事費の面で苦慮との答弁だった。その後の検討結果は。

答弁 住民の意向確認、鉄道会社との協議、市全体の道路網のあり方を踏まえた見直しが必要のため時間を要する。

質問 令和4年度に都市計画マスタープランを見直すこととしているが、都市計画審議会へ諮問してはどうか。

答弁 現在、マスタープランを見直し中であり、今後必要性等を住民に説明し、意見を聞いていきたいと考える。マスタープラン策定の中で、しっかりと考えていきたい。

その他の質問

・栗和田浄水場の更新について



松樹 純子

除雪について

質問 市道除雪の出動基準は。

答弁 重点区間は積雪5〜10センチメートル程度、その他は10センチメートル程度としている。

質問 中野市は積雪寒冷地域に指定されており、国から除雪費用の補助があることだが、補助率は。

答弁 補助率は3分の2である。ただし、補助金額は、国の指定金額であり、全く足りていない。

質問 市と業者でシーズン前に行っている除雪会議や現地確認を、区など地域も加えて行ってはどうか。

答弁 地元等の立会いも進むよう、今年度の反省を踏まえ、雪置き場などを改善すべく担当課で考えたい。

質問 除雪計画を公開してはどうか。

答弁 公開に向けて検討したい。

質問 市民が除雪、排雪についてお願いしたい場合のルートは。

答弁 区長を通じて市に連絡をいただきたい。

る。例年30区程度で、360回30万円ほどとなっている。

質問 除雪や屋根の雪下ろしへの支援は、市民税非課税世帯が対象のため、利用できずに困っている人がいる。支援を拡充してはどうか。

答弁 除雪を含めた市社会福祉協議会の活動を支援しているため、さらなる支援・補助は考えていない。

人権尊重について

質問 人権尊重都市宣言は、いつ、どういった形で市民に伝えるのか。

答弁 今議会で認められたら、横断幕設置のほか、イベント等で広く市民に周知していきたいと考えている。

質問 人権尊重都市宣言の効果として期待することは。

答弁 市民一人一人が自らの意識を高め、市が市民と一体となって人権のまちづくりに取り組み、人権尊重の輪が広がることで、人権侵害や差別のない明るい社会の実現につながることを期待している。

質問 市は、人権尊重都市宣言をしたことにより、どういう施策等を行うのか。

答弁 宣言を浸透させるため、広報なかのへの掲載やイベント等を開催する。また、人権教育・啓発の推進および多様化する人権問題に対応するため、関係職員の研修強化や人権擁護委員との連携強化による相談体制の充実を図っていく。



中村 秀人

農業の振興と発展について

質問 売れる農業推進事業強化の背景は。

答弁 今年度は、インターネットを活用し、本市および本市農産物のPRや海外での販路開拓を行ったことにより、新たなファン獲得につながることができたため、来年度も継続して取り組んでいきたいと考えている。

質問 園芸振興作物を導入する際の支援の状況は。

答弁 これまで、市の単独事業として苗木の購入の補助などのほか、県の補助事業を活用して省力管理機械設備導入などの支援を行っている。

質問 原油・資材価格高騰による経営圧迫への対応策は。

答弁 市単独の支援策は、今のところ考えていない。

質問 みどりの食料システム戦略を導入していくべきでは。

答弁 農作業の省力化や脱炭素、SDGsの達成といった観点から、本戦略に則した事業を推進することは重要と考える。農業者がスマート農業、脱炭素関連事業等に取り組む際は、積極的に支援していく。

質問 総合大学や単科大学との連携

により新技術の研究・開発や地域の課題解決・交流を広げてはどうか。

答弁 相互が有する知見や資源の活用、農業振興や地域活性化への貢献人材の育成に寄与する明確な目的と、具体的な事業が想定される場合は、大学との連携を考えていく。

地域の抱える課題について

質問 地域課題を解決するための支援を推進してはどうか。

答弁 国の制度を活用した地域おこし協力隊をはじめ、国・県によるコミュニティ助成事業や地域発元気づくり支援金、市の中野のチカラ応援事業補助金により、地域の発展や活性化等を図っている。今後も人口減少や高齢化により地域コミュニティの維持継続は、一層厳しくなると思われるが、引き続き、地域住民の自主的な取り組みを支援するとともに、地域に寄り添い、サポートしていくなど、協働によるまちづくりを推進していきたいと考えている。

旧中野高校跡地について

質問 旧中野高校跡地の利活用についての検討は。

答弁 これまでの経過および市全体の公共施設における位置付けを踏まえ、中野市公共施設最適化部会で検討しているところであり、来年度中に方針が示せるように進めていく。



高木尚史

借地等事務所の移転計画について

質問 財産管理についての令和2年度決算審査意見における監査委員の基本的考えと問題点は何か。

答弁 監査委員として、市が土地・建物を借り上げている施設については将来的な財政負担を勘案し、「公共施設適正化計画」の方針に沿った検討を進められたいと指摘した。

質問 借地等の実態はどうか。

答弁 保健センターなど19施設で借地料は年額2千329万円である。

質問 南宮庁舎内の移転対象となっている団体との協議が、昨年11月に始まり、半年も経たずに結論を出せとは極端すぎる。利用者の立場で慎重に時間をかけるべきではないか。

答弁 市の考えや取り組みを説明するなど協議を進めてきた結果、豊田支所等への移転の了承の回答を得た。質問 移転に際し該当委員会や全員協議会に報告もなかったのはなぜか。

答弁 必要がないと判断した。質問 公有財産である南宮庁舎の売却は議会の議決を得るべきではなかったか。

答弁 不動産鑑定の評価額で計上しており、議決は不要と判断した。

太陽光発電施設について

質問 市内の設置状況はどうか。

答弁 平成24年度の固定価格買取制度から昨年11月末時点で198件。

質問 中野市太陽光発電施設の設置に関するガイドラインの目的と国のガイドラインの相違は何か。

答弁 国・県のガイドラインを参考に地域住民の不安を解消し、再生可能エネルギー事業の促進を図ることを目的とし4月1日適用とした。

質問 事前協議などについて、国の定格出力10キロワットが市では20キロワットとしたその根拠は何か。

答弁 20キロワット以上の設備には事業者情報を示す標識の設置が義務付けられているため。

質問 ガイドラインでは行政の関わりが不明確であるがどうか。

答弁 情勢の変化で随時見直す。

プラスチックごみ資源について

質問 容器包装プラスチックの分別収集の実態と課題は何か。

答弁 荷造り用のパレットや再生ペレット原料にリサイクル。混入の不純物の除去作業費用が上昇している。

質問 4月施行の「プラスチックに係わる資源循環の促進等に関する法律」の対応と市民周知方法はどうか。

答弁 プラスチック使用製品の一括回収が可能となり、関係機関や事業者と具体的な検討を行っていききたい。



永沢清生

豪雪被害について

質問 被害状況の把握体制は。

答弁 雪害対策会議を開催し、除雪作業中の事故、建物および農業被害等の情報を共有し、部署間で連携を図りながら、対策・対応を行ってきた。

質問 雪害対策本部が設置されていない理由は。

答弁 雪害対策会議において協議し、過去の経過および状況を踏まえ、被害が限定的であったことから、本部設置を見送った。

自主防災組織について

質問 設置状況は。

答弁 市内全76区中、自警団等36団体が設立され、組織率は47・4%、昨年度から3団体増えている。

質問 防災という性質上、経験や知識の積み重ねが重要となる。区長をはじめとした区の役員は任期が決まっており、継続的な取り組みが困難で、経験や知識の積み重ねにつながらない。防災士が地域防災のリーダーシップを取ることを、市として位置付けることができれば、防災・減

災活動の継続性が図られ、加えて区長や区役員の負担軽減につながる。

答弁 防災士の養成の考えはあるか。質問 防災士の養成は、自主防災組織の増加および活動の活性化に寄与すると考えている。防災士を含め地域防災リーダーの育成支援については、他の自治体の状況を参考にしている。

柳沢遺跡について

質問 復元された銅鐸はどのようなものか。

答弁 弥生時代の金属器研究の第一人者が精密に計測し、当時の材質を再現して作成した。忠実に再現された青銅製造製品であり、約2千年前の弥生時代の人々が目にした同じ色の形の物を身近に感じていただくことで、郷土の歴史に誇りと愛着を持っていただけると考えている。

質問 今後の活用はどうか。

答弁 博物館展示室において出土品と比較できるように並べて展示している。今後は、出土品、復元品および模造品を併せて利用しながら活用する機会を増やしていく。

質問 モニュメントを設置しては。答弁 現在、柳沢遺跡の発掘現場には、遺跡案内板を設置しているが、県道中野飯山線拡幅工事のため、移設する必要がある。モニュメントの設置については、その代替地が決定したら、案内板の移設後に、地元の皆様と協議し、検討していく。



中村 明文

まちなかの活性化について

質問 まちなかの活性化に対する市長の考えは。

答弁 まちなかの活性化について、にぎわいがあり、魅力ある商店街づくりなど、市街地活性化に向け、これからも積極的に支援する必要があると考えている。

質問 中野陣屋前広場公園のイベント利用の促進に対する取り組みはどうか。

答弁 イベント開催等の支援は、今年度からマルシェ開催への支援を行っている。ステージの活用も含め、定期的なイベントが開催できる場所として、今後もPRしていく。

質問 商店の後継者への補助の取り組みはどうか。

答弁 補助は現在考えていないが、信州中野商工会議所および中野市商店会連合会が行う店づくりへの支援のほか、市が行う事業承継セミナーなどにより、既存商店の経営基盤の安定に努めていく。

質問 信州中野駅前建設するホテルの進捗状況およびホテル建設に合わせた飲食店に対する支援の状況は。

答弁 ホテルは来年4月にしゅん工

予定で、地上8階建て、客室166室で計画されている。飲食店への独自の支援は考えていないが、店舗改修等支援事業を活用していただきたい。

中学校における部活動について

質問 市内4中学校の部活動の実態は。

答弁 運動系は野球、バレーボール、卓球など、文科系は吹奏楽、合唱などがあり、生徒数の減少により、廃部や複数校による合同部活動など、制約を受けている活動がある。

質問 部活動指導員について令和4年度予算では5人となっているが、部活動指導員の報酬と身分はどうなるのか。

答弁 国・県の補助事業を活用した1時間当たりの報酬で、身分は市の会計年度任用職員となる。

質問 教員の負担軽減になるのか。

答弁 技術指導や休日の生徒引率など教員に代わって職務を担うことで教員の負担軽減が図られる。

質問 部活動指導員の増員は。

答弁 国は、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の両立を実現するため、休日の部活動の段階的な地域移行を示している。本市においても、部活動の地域移行に向け、来年度検討委員会を立ち上げることとし、その中で部活動指導員の増員を含め、将来的なあり方を検討していく。



塚田 一夫

除排雪体制について

質問 排雪されるまで、空き地を除雪の仮置き場として確保できないか。

答弁 生活道路では雪寄場の確保が難しいため、地元区と連携を図り、確保に努めていきたい。

質問 子どもたちが安全に登下校できるように、通学路の除雪に関して、教育委員会と連携を取っているのか。

答弁 現在は行っていないが、今後は連携を強化していきたい。

屋根の雪下ろしへの費用助成について

質問 雪下ろしへの費用助成となる条件は広報なかの等に掲載されているが、詳しい助成内容の通知は民生児童委員だけである。対象者は独り住まいのお年寄り家庭だけではできないか、区長へも通知することはできないか。

答弁 事業周知は区長へも必要であると考えため、次年度から通知させていきたい。

質問 助成費用が人件費分だけのため、専門業者へ依頼した場合は負担が大きくなると思われる。専門業

者へ依頼した場合は総費用の何割補助とできないか。

答弁 本年度の補助率を確認すると、平均して総費用の6割の補助額となっているため、現在の費用助成で対応したい。

コロナ禍における事業者支援について

質問 国の事業復活支援金対象事業者に対する市独自の上乘せ支援はできないか。

答弁 この3月議会において、国の事業復活支援金を受給した中小法人、個人事業者等に対し、一律10万円を給付する補正予算をお願いしている。

長野電鉄の北陸新幹線への接続について

質問 長野駅始発の北陸新幹線上りへの接続による利便性向上を図り、社会人口増加等につなげるため、信州中野駅始発を繰り上げる要望はできないか。

答弁 現在、信州中野駅から電車を利用する方にとっては不便な状況となつているため、本市のほか県、長野市、須坂市などの長野電鉄沿線の自治体等で構成され、長野電鉄の利用促進や地域活性化等を目的に設置している「地域連携長野電鉄長野線沿線活性化協議会」において検討していく。

## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案6件、予算案5件について、3月11日および14日に審査しました。

主なものとして、中野市一般職の職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案で、国からの通知に基づき、育児休業等の取得要件を緩和し、取得しやすい勤務環境の整備に関する措置を講ずるため、所要の改正、中野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案で、令和4年度における国民健康保険事業費納付金および標準保険税率が示され、税率を改正する必要があるとともに、地方税法施行令の一部改正により、未就学児に係る被保険者均等割を減額するため、所要の改正を行うもので、原案どおり可決されました。

予算案では、令和4年度中野市一般会計予算で、予算総額は25億3千900万円と過去最大の予算規模となり、議会費1億8千93万4千円、総務費（関係部分）43億5千778万7千円、消防費8億2千801万6千円、教育費17億479万3千円、公債費24億2千740万7千円、予備費3千600万円を計上するものであり、原案どおり可決されました。

その他の条例案4件、予算案4件については、それぞれ承認および可決されました。

## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案6件、予算案7件、事件案1件について、3月11日、14日および15日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市におけるあらゆる差別撤廃及び人権擁護に関する条例の一部を改正する条例案で、人権尊重都市宣言の制定に合わせ、本条例の目的に部落差別の解消の推進に関する法律等および相談体制の充実を加えるため、所要の改正を行うもので、原案どおり可決されました。

予算案では、令和4年度中野市一般会計予算で、総務費（関係部分）25億3千891万円、民生費68億9千677万3千円、衛生費14億5千399万5千円を計上するものであり、原案どおり可決されました。

事件案では、人権尊重都市宣言について、市民の人権意識が高揚し、人権尊重の輪が広がり、部落差別、障がい、性別、年齢および国籍等あらゆる差別や偏見などによる人権侵害のない、だれもが住みよいまちを築くことを目的に都市宣言を制定しようとするものであり、原案どおり可決されました。

その他の条例案5件、予算案6件については、それぞれ承認および可決されました。

## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された予算案8件、事件案1件について、3月11日および14日に審査しました。

主なものとして、予算案では、令和3年度中野市一般会計補正予算（第10号）の専決処分報告について、昨年12月からの降雪により、当初予算に計上した市道等の除排雪経費の不足、並びに区が行う農道等の除排雪経費および積雪により被害を受けた果樹棚等の復旧費用に対し支援を行うため、農林水産業費800万円、土木費3億4千800万円を増額されたものであり、原案どおり承認されました。

令和4年度中野市一般会計予算で、労働費3千364万5千円、農林水産業費13億8千805万5千円、商工費15億91万円、土木費24億9千177万5千円を計上するものであり、他の特別会計および企業会計の当初予算4件と同様、原案どおり可決されました。

事件案では、財産（建物）の無償譲渡について、設置当初の目的が達成され、将来にわたり市で有効活用が見込めない農機具保管施設を無償譲渡するものであり、原案どおり可決されました。

その他の予算案2件については、それぞれ可決されました。

## 議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。

インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンでいつでも本会議の様態を視聴することができます。是非、ご覧ください。

### 視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会議中継」にアクセス

中野市議会ホームページ

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

配信している議会議中継 平成30年5月市議会議臨時会分～

配信時期 定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。



## 議会改革検討委員会報告

令和2年5月市議会臨時会におきまして、委員8人により構成する、第5代後期の議会改革検討委員会が設置されました。

以後、6回にわたり委員会を開催し、議会改革について検討を重ねてきたところであります。

本委員会におけるこれまでの検討結果等について申し上げます。

はじめに、本会議における議員の発言許可に係る呼び方の見直しについて、議事本会議の時間短縮および議長による議事進行の負担軽減を図るため、令和3年3月市議会定例会から、発言許可に係る呼び方の見直しをすることを議長へ申し入れることに決定しました。

なお、議長に申し入れた後、議会運営委員会において協議がされ、令和3年3月市議会定例会から見直されました。

次に、欠席事由の明確化（出産・育児・看護等）について、第5代前期から検討を重ねて参りましたが、令和3年2月に標準市議会会議規則が改正されたことを受け、本市議会においてもその改正に基づき欠席事由を明確化し、出産に係る欠席期間については、「出産予定日前の8週間前の日から当該出産の日後8週間を経過する日」として、令和4年4月1日施行の改正案を議長へ申し入

れることに決定しました。

なお、議長に申し入れた後、議会運営委員会において協議がされ、本委員会が決定したとおり、令和3年9月市議会定例会において会議規則が改正され、本年4月1日に施行されることとなりました。

また、議会改革実施事項のほか、中野市議会会議録配布数の削減、政策立案機能の強化、議員報酬・議員定数の見直し、タブレット端末等活用したペーパーレス化の推進、予算議案の委員会審査方法、常任委員会の1日1委員会の開催および議員の常任委員会の傍聴につきましても研究、検討を行ってまいりましたが、結論までには至らなかつたため、改選後においても議会改革検討委員会が設置される場合にあつては、引き続き検討を希望するものとした。

本委員会につきましては、限られた時間の中ではありましたが、市民の皆様、関係団体のご協力の下、開かれた議会、一層効率的な議会運営を目指す本市議会の議会改革について、一定の役割を果たせたのではないかと考えております。

ご協力いただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。以上、申し上げます。議会改革検討委員会の報告といたします。

## 意見書

## 可決された意見書

（関係行政庁に提出）

## シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された公的団体であり、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献している。

令和5（2023）年10月に、消費税において適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）が導入される予定となっているが、同制度が導入されると、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行することができないことから、センターは仕入税額控除ができなくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要が生じる。しかし、公益法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はない。人生100年時代を迎え、国をあげて生涯現役社会の実現が求められる中、報酬よりも社会参加・健康維持に重きを置いた「いきがい就業」をして、形式的に個人事業者であることをもって、

インボイス制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献しようと努力している高齢者のやる気、生きがいを削ぎ、ひいては地域社会の活力低下をもたらすものと懸念される。センターにとつては、新たな税負担はまさに運営上の死活問題である。

よつて、中野市議会は、国に対し、消費税制度においては、小規模事業者への配慮として、年間課税売上高が千万円以下の事業者は消費税の納税義務が免除されているところであり、少額の収入しかないセンターの会員の手取額がさらに減少することなく、センターにおいて、安定的な事業運営が可能となる措置を要望するものである。

## ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し民主的な政治体制の早期回復を求める意見書

我が国は、ミャンマー連邦共和国（以下「ミャンマー」という。）に対し、政府開発援助（ODA）を通じて、民主化や経済発展のための取組を全面的に支援してきた。このようなか中、2021年2月1日に発生したミャンマー国軍による軍事クーデターは、同国の民主化への努力と期待を踏みにじるものである。

また、クーデター以降、国際社会の度重なる呼びかけにもかかわらず、国軍及び警察による暴力によつて、

多数の死傷者、拘束者及び避難民が発生している状況は断じて受け入れ難く、強く非難するものである。

この事態に対し、人間の安全保障を外交の柱とする我が国は、ミャンマーに対する最大の援助国である立場を生かし、国際社会とも連携しながら、ミャンマー国民の自由と人権を取り戻すための取組を積極的に進めていくことが求められる。

よって、中野市議会は、国に対し、下記事項について強く取り組むことを要望するものである。

記

1 ミャンマーにおける軍事クーデターを強く非難し、自らの自由と人権、民主主義を取り戻すために声を上げ行動を続けているミャンマー国民と共にあることを表明すること。

2 ミャンマー国軍指導部に対し、民間人への残虐行為の即時停止、不当に拘束された人々の即時解放、人権及び人間の安全保障の尊重、民主的な政治体制の早期回復を強く求めること。

3 あらゆる外交資源を駆使して、これらの事項の速やかな実現に全力を尽くすとともに、被害を受けた少数民族や避難民に対する緊急支援の提供、ミャンマー国軍に対する武器輸出禁止に対して取り組むこと。

■ 決議

ロシアによるウクライナへの侵略に抗議する決議

2月24日にロシアのプーチン政権によるウクライナへの侵略は、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国連憲章に違反し国際社会の平和と安全、秩序を著しく損なう暴挙であり許すことはできない。

既に先制攻撃によって多数の民間人を含む人々の命が奪われており、国際社会から非難の声が上がっている。

ミサイルなどの爆撃によりウクライナに拠点を置く日本企業をはじめ現地在留邦人の生命が危ぶまれる事態に置かれているとの報道もある。

ロシアのプーチン大統領は軍事侵攻に際し、核兵器の使用を示唆するような発言をしたことに対し、被爆国の日本として強い憤りを覚えるものである。

よって、中野市議会は、政府において関係する国々に対し外交努力を通じて国際社会と連携し、直ちにロシア軍の撤退を求めるとともに、平和の実現に全力を尽くすよう強く求めることを決議する。

3月定例会の審議結果

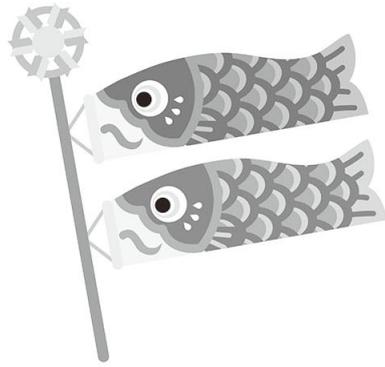
議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	令和3年度中野市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の報告について	承認	議案第17号	令和3年度中野市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第2号	令和3年度中野市一般会計補正予算(第10号)の専決処分の報告について	承認	議案第18号	令和4年度中野市一般会計予算	可決
議案第3号	中野市表彰条例の一部を改正する条例案	可決	議案第19号	令和4年度中野市国民健康保険事業特別会計予算	可決
議案第4号	中野市一般職の職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第20号	令和4年度中野市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
議案第5号	中野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第21号	令和4年度中野市介護保険事業特別会計予算	可決
議案第6号	中野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第22号	令和4年度中野市債財産区事業特別会計予算	可決
議案第7号	中野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	可決	議案第23号	令和4年度中野市永田財産区事業特別会計予算	可決
議案第8号	中野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	可決	議案第24号	令和4年度中野市中野財産区事業特別会計予算	可決
議案第9号	中野市保健センター条例の一部を改正する条例案	可決	議案第25号	令和4年度中野市下水道事業会計予算	可決
議案第10号	中野市医師研究資金貸付条例を廃止する条例案	可決	議案第26号	令和4年度中野市水道事業会計予算	可決
議案第11号	中野市青少年問題協議会条例を廃止する条例案	可決	議案第27号	財産(建物)の無償譲渡について	可決
議案第12号	中野市体育施設条例の一部を改正する条例案	可決	議案第28号	人権尊重都市宣言について	可決
議案第13号	中野市B&G海洋センター条例の一部を改正する条例案	可決	議案第29号	中野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	同意
議案第14号	中野市におけるあらゆる差別撤廃及び人権擁護に関する条例の一部を改正する条例案	可決	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第15号	令和3年度中野市一般会計補正予算(第11号)	可決	議第1号	ロシアによるウクライナへの侵略に抗議する決議について	可決
議案第16号	令和3年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	議第2号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書について	可決
			議第3号	ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し民主的な政治体制の早期回復を求める意見書について	可決

表紙の写真

豊田地域の永田保育園が3月31日をもって廃止となり、4月1日、豊井保育園が改修され、新たに「とよた保育園」として開所し、入園式が行われました。

新たなお友達と一緒に、また、入園を迎え、園舎には楽しく保育を受ける元気な子ども達の声が響いています。

これからの中野市を担う子ども達の新しい時間が動き出しました。



議会だよりの発行日変更

本年4月から、市の全戸配布方法が変更されたことに伴い、議会だよりの発行日を「定例会翌月の20日」から「定例会翌々月の5日」に変更しました。

なお、定例会は3月、6月、9月および12月に開かれます。

市議会を傍聴しませんか

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。



手話通訳申請  
ながの電子申請サービス

傍聴等に関するお問い合わせ先

電話 (22) 2111 (内線316) FAX (22) 5922  
Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp

令和4年6月中野市議会  
定例会会期日程(予定)

- 開会日 6月2日(木曜日)
- 市政一般質問 6月9日(木曜日)  
10日(金曜日)  
13日(月曜日)
- 委員会 6月14日(火曜日)  
15日(水曜日)
- 閉会日 6月17日(金曜日)
- 請願・陳情について  
6月定例会における請願書および陳情書の受付は、5月16日(月曜日)の午後5時までです。  
※他の行事等により日程を変更する場合があります。

第5代後期  
議会だより編集委員名簿

(順不同)

委員長	青木 正道
副委員長	阿部 光則
委員	松樹 純子
委員	宮島 包義
委員	中村 明文
委員	宇塚 千晶
委員	保科 政次
委員	芦澤 孝幸
委員	永沢 清生
委員	高野 良之

あとがき

3月18日、第5代議員による最後の定例会が閉会しました。この議会では、ロシアによるウクライナへの侵略に抗議する決議を全会一致で可決しましたが、一日も早い侵略の終焉を望むものであります。

また、令和4年度では、旧長丘小学校が子どもセンター機能を中心とした地域活性化施設に、旧永田小学校が40メートルトラックを持つ地域コミュニティとしての災害時拠点施設に整備されるなど、いよいよ新しい中野市の形が見えてきます。

第5代議員による議会だよりの発行は、今回で最後となりますが、議会を身近に感じていただける内容となるように努めて参りました。次代へも引き続き努めていただくよう引き続き参ります。

